

人の可能性を照らせ。



2024年6月3日
株式会社 QDレーザ

網膜投影機器 RETISSA シリーズによる 新しいサッカー観戦の取り組みについて

株式会社 QDレーザは、2024年6月1日より川崎フロンターレの協賛カンパニーとなりました。この協賛を通じて、RETISSA ON HAND をはじめとする網膜投影機器を用い、ロービジョン者の方々にも新たな形でサッカー観戦を楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。これまで見えにくさから競技場でのサッカー観戦が難しかったロービジョン者の方々の、川崎フロンターレのホームゲームにご招待し、自分の目でサッカーの試合を「見て、楽しむ」体験を提供します。

2024年6月2日に開催のあった「かわさき SDGs ランド powered by FDK」に QDレーザもブースを出展し RETISSA シリーズの体験会を実施しました。体験会に合わせ、「明治安田J1リーグ 第17節:川崎フロンターレ vs 名古屋グランパス」にロービジョンの学生 2 名を招待し、ホームゲームを観戦しました。

◆「かわさき SDGs ランド powered by FDK」

開催日：2024年6月2日 日曜日13:30~16:30

開催場所：川崎フロンパーク

内容：40を超える体験型ブースが出展し、川崎フロンターレが率先して推進している SDGs を、みんなで楽しく遊べる、学べる、体験できるイベントが開催されました。詳細は以下のリンクからご覧ください。

https://www.frontale.co.jp/info/2024/0520_1.html

QDレーザもイベントの目玉企画のひとつとして、ブースで網膜投影体験会を実施しました。ロービジョンの理解促進のため、QDレーザが支援をしているロービジョンフットサルチーム「CA SOLUA 葛飾」の協力を得て、多くの方々に網膜投影体験や弱視の疑似体験を提供しました。



大勢の方がブースへ来てくれました



網膜投影により見える映像に驚いています

◆RETISSA によるサッカー観戦

開催日：2024年6月2日 日曜日 17:00KICK OFF

開催場所：Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu

内容：手持ち型網膜投影視覚支援機器 RETISSA ON HAND などを利用し、2名のロービジョンの学生が川崎フロンターレのホームゲームを観戦しました。普段は単眼鏡やタブレット、スマートフォンを駆使して何とかサッカー観戦をしていた二人も、網膜投影により楽に選手のプレイやボールの動きを楽しめることができ、サッカー観戦を楽しむことができました。



©KAWASAKI FRONTALE

ロービジョンの小中学生が網膜投影を利用し、
自分の目でサッカーを観戦できました

◆網膜投影による新しいサッカー観戦機会の拡大を目指して

QDレーザは、ロービジョン者の方々に網膜投影による新しいサッカー観戦を体験していただくため、引き続き川崎フロンターレのホームゲーム(年内9試合予定)にご招待する予定です。この取り組みを通じて、より快適に「自分の目で試合を見て、楽しむ」体験を提供し、川崎フロンターレのホームゲームだけではなく、今後さまざまなスポーツ観戦においても網膜投影が新たな選択肢となるよう、広く認知していただくことを目指しています。



©KAWASAKI FRONTALE
QDレーザは川崎フロンターレを応援しています

以上

*RETISSA ON HANDは株式会社QDレーザの登録商標です。

*RETISSA シリーズは医療機器ではありません。特定の疾病の診断、治療もしくは予防、視力の矯正などを意図するものではありません。

*網膜投影の見え方には個人差があります。眼の状態によっては投影画像を認識できない可能性があります。(網膜全体の機能が失われている場合など)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com